

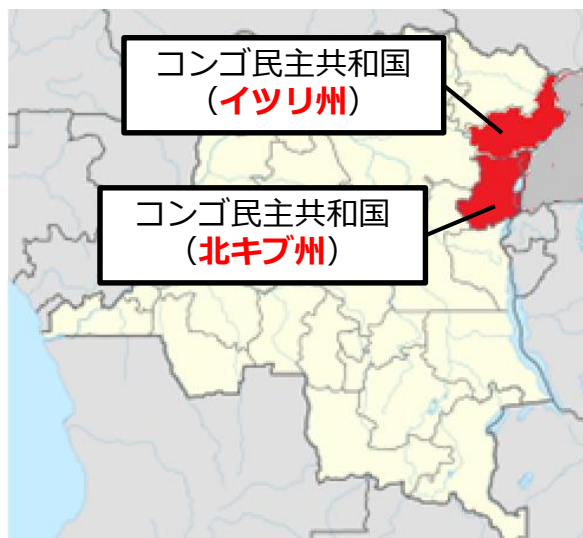
世界保健機関（WHO）の発表によると、
コンゴ民主共和国北キブ州、イツリ州
で**エボラ出血熱**が発生しています！

コンゴ民主共和国

に、渡航される方は、
エボラ出血熱の流行地域に
近づかないでください！



感染した人の血液や体液、これらに汚染された可能性のあるもの、動物（死体を含む）に触らないでください。



【海外安全情報】

危険度のレベル2：不要不急
の渡航はやめてください

健康監視 について

海外で病原体に感染する可能性があった方を
対象に、一定期間、健康状態の確認を行います

※毎日2回（朝、夕）体温を測り、検疫所へ健康状態について報告を求めるものです。

エボラ出血熱 は、ウイルスに感染した動物やヒトに接触することにより感染し、死亡率の高い（25～90%）病気です。エボラ出血熱に対する確立された治療法やワクチンは今のところありません。
潜伏期間は、2～21日（通常は7日程度）で突然の発熱、疲労感、筋肉痛、頭痛、咽頭（のど）痛で発症します。それらに引き続き、おう吐、下痢、腎機能や肝機能の低下がみられ、進行すると全身に出血傾向がみられる場合もあります。

※ 現地でエボラ出血熱患者などに接触した方は、**帰国時に検疫官に自己申告してください。**



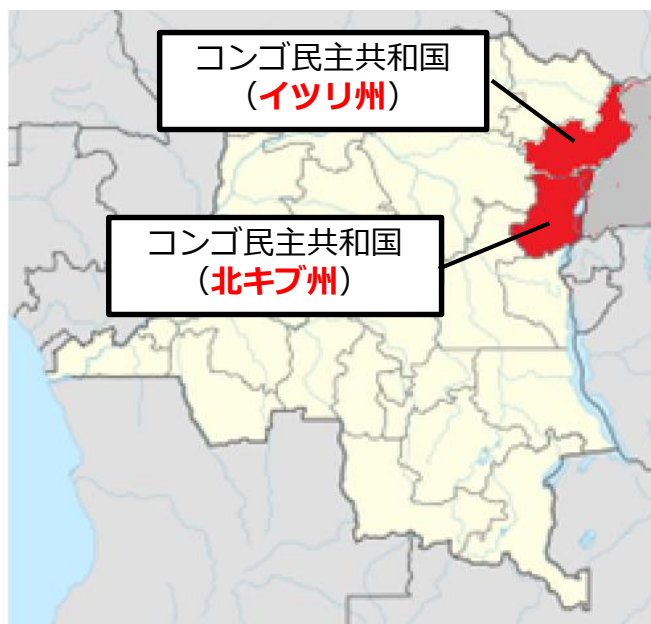
厚生労働省 検疫所

世界保健機関（WHO）の発表によると、
コンゴ民主共和国北キブ州、イツリ州
で**エボラ出血熱**が発生しています！

コンゴ民主共和国

に、滞在していた方は、
検疫官にお申し出ください。

※ 現地でエボラ出血熱患者などに接触した方は、検疫官に自己申告してください。



エボラ出血熱 は、ウイルスに感染した動物やヒトに接触することにより感染し、**死亡率の高い（25～90%）病気**です。

潜伏期間は、2～21日（通常は7日程度）で突然の発熱、疲労感、筋肉痛、頭痛、咽頭（のど）痛で発症します。それらに引き続き、おう吐、下痢、腎機能や肝機能の低下がみられ、進行すると全身に出血傾向がみられる場合もあります。

